

会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 1 回 丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成 29 年 3 月 24 日（金）10:00～12:00
開催場所	丸亀市役所 本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>出席委員 井原理代、逢坂十美、立山雄一、久保田英俊、小池よう子、佐久間知恵、佐々木美紀子、藤田裕子、森茂、山下多加子、桑田桃子、佐藤常光、直井敏彦、浦山夏穂、森岡翔哉</p> <p>欠席委員 岩崎正朔</p> <p>事務局 市長公室長 山田理恵子 （市長公室政策課）課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、総括担当長 志村芳隆、主任 宇野大志郎</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 丸亀市総合計画の概要について 2. 市民アンケート結果について 3. その他
傍聴者	0 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	<p>定刻が参りましたので、ただ今より丸亀市総合計画審議会を開会いたします。会長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきます政策課の山地と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、まず、総合計画審議会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びしますので、その場にご起立をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜市長より各委員に委嘱状の交付＞</p>
山地政策課長	<p>それでは、ここで梶市長より、皆様にご挨拶を申し上げます。</p>
梶市長	<p>皆様おはようございます。丸亀市では、これまで合併後 10 年間の総合計画がございまして、前期、後期のそれぞれ 5 年間、進行管理をしながら市政運営を行ってまいりました。総合計画は、市の最上位の計画ということで、丸亀市の目指すべき方向性を明確にする大きな役割があり、例えば首長が交代することがあっても、にわかには総合計画を立て直すということは通常ありません。ただ、かつてと違って時代の変化が激しく、これまでのように 10 年を一括りにすると、内容的にも少し問題が出てくるため、時代に合うように適切に対応する方がよいのではないかということで、市長の任期に合わせるかたちで策定するという考えも出てきております。</p>

	<p>また、市の計画には、総合計画以外にもそれぞれの行政分野に応じた個別計画がたくさんございます。例えば福祉計画、高齢者の計画、都市計画マスタープランなど、計画期間や策定時期も様々ですが、これらの個別計画と全体の総合計画がうまくバランスをとりながら、機能することが市の発展のためには必要です。</p> <p>計画を策定して終わりではなく、丸亀市が豊かに発展していくように、実践的で実効性のある総合計画にしたいと思います。本会議で活発にご議論いただき、お知恵を賜りますとありがたく存じます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
山地政策課長	<p>市長は、公務の都合上、ここで退席させていただきます。続きまして、各委員より一言ずつ自己紹介をいただきます。</p> <p><各委員自己紹介></p>
山地政策課長	<p>次に事務局の自己紹介をさせていただきます。</p> <p><事務局自己紹介></p>
山地政策課長	<p>それでは、丸亀市総合計画審議会の進め方などについて、事務局より説明させていただきます。</p>
政策課 宇野	<p><資料に基づき説明></p>
山地政策課長	<p>質問等はございますでしょうか。議事に入ります前に報告でございますが、現在16名の委員のうち15名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>それでは、会長、副会長の選任に移らせていただきます。丸亀市附属機関設置条例第6条第1項に、「附属機関に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める」とありますが、いかがいたしましょうか。</p>
久保田委員	<p>事務局の考えはいかがでしょうか。</p>
山地政策課長	<p>事務局としましては、会長は井原委員、副会長は森委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p><異議なし></p>
山地政策課長	<p>井原委員、森委員におかれましては、ご了承いただけますでしょうか。</p> <p><両委員了承></p>

山地政策課長	<p>それでは、井原会長、森副会長よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、改めまして会長、副会長より一言ずつ、ご挨拶をお願ひします。</p> <p><会長、副会長挨拶></p>
山地政策課長	<p>ありがとうございました。それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条により、ここからは会長に議長を引き継ぎますので、よろしくお願ひします。</p>
井原会長	<p>それでは、私の方で議事を進めさせていただきます。まず、議事の1「丸亀市総合計画の概要について」事務局より説明をお願ひします。</p>
政策課 宇野	<p><資料に基づき説明></p>
井原会長	<p>現総合計画の内容と、それを踏まえた次期計画の計画期間、個別計画との構成、重点的に取り組む施策の見せ方の問題など、今後の方向性について説明がありました。ご意見等ございますか。</p>
立山委員	<p>次期計画については、市長任期に合わせて4年間を基本にしたいという説明でしたが、それは基本構想のことを指すのでしょうか。</p>
政策課 宇野	<p>現在の計画で言いますと、基本構想をさらに前期・後期に分けたそれぞれの基本計画の部分です。4年単位で、基本構想を8年ないし12年何年にするかは自治体により様々ですが、昨今の社会情勢の変化を考えますと、12年先は少し長いという印象があります。今後の協議、作業で決めていきたいと思ひます。</p>
立山委員	<p>それでは、基本計画と実施計画の関係はどうなりますか。同じになるという可能性もあるということでしょうか。</p>
政策課 宇野	<p>基本計画が4年に縮小される分、実施計画を定めず、予算編成を進める自治体もあります。</p>
井原会長	<p>基本構想を何年にするのか定まってないと、考える視点も変わり、検討しにくいところもあるので、できる限り早い段階で方向性を示して欲しいと思ひますがいかかでしょうか。</p>
政策課 宇野	<p>4月の市長選挙後、庁内のコンセンサスを得たうえで、次回の会議で方向性をお示ししたいと考えています。</p>
直井委員	<p>現在の計画期間が平成28年度までで、今年度1年空きますが、何か意図はあ</p>

<p>政策課 宇野</p>	<p>りますか。また、次期計画のコンセプトとして、モデルチェンジして大幅に変えるのか、継続性を持たせるのでしょうか。それから、新しい市長の方針がどの程度反映されていくのでしょうか。</p> <p>空白期間は、新市長決定後に合わせて、策定作業を進めることとしていたためです。行政の各事業は、予算編成が前提にあり、予算編成が始まる秋頃の段階までに計画をある程度固め、任期4年間中の市長の方針を次年度予算に反映して事業を進めます。</p> <p>コンセプトについては、行政が目指すところはそう変わらないという点で、どちらかといえば継続性が強くなるかと思いますが、一方で社会情勢が変化するなかで、その都度時代に求められるニーズを反映する必要性もあります。</p> <p>市長の方針については、市長任期に合わせた理由の一つに、市長の方針を総合計画に組み込むという点があります。首長選出は民意を反映したものであり、マニフェストなども考慮する必要があると考えています。</p>
<p>井原会長</p>	<p>計画期間は、どこの自治体でも問題になっているようです。民意をうまく吸い上げること考えた場合、現状として、市長任期に合わせるという状況になっていると思います。</p> <p>それから、個別計画が充実しており、譲るべき部分は個別計画に委ねて、できる限り市民にとって分かりやすいように、若干の簡素化を進めたい、また、平板な総合計画でなく、重点化する取組み、丸亀市にとって大切な課題の見せ方を工夫したいとのことですが、概ねその方向でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の議題「市民アンケートの結果について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>政策課 宇野</p>	<p><資料に基づき説明></p>
<p>逢坂委員</p>	<p>丸亀市の場合、市町合併して、市街地と田園地域が入り混じるかたちとなっています。交通の便や自然に対する意見など、居住地によって意見が変わると思いますが、地区別の分析は可能でしょうか。</p>
<p>政策課 宇野</p>	<p>今回の会議までに、地区別の特徴や傾向をお示しできればと思います。</p>
<p>井原会長</p>	<p>他にないようでしたら、議題のその他のところで、今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>政策課 宇野</p>	<p><資料に基づき説明></p>
<p>井原会長</p>	<p>スケジュールについての説明がありました。その他も含めて、ご意見等ござい</p>

	ますか。
直井委員	この審議会の場合に、事務局からの案が示されて議論していくとのことですが、資料は事前にいただけますか。
政策課 宇野	資料は事前にお渡しして、ご審議いただきたいと思います。場合によっては、お渡しした資料をもとに先にご意見をいただき、それをさらに会議資料として用いることもあります。
久保田委員	どんな個別計画があるのかも知りたいです。昨年、私どもの社会福祉協議会と市が共同で作成した福祉の計画では、新しい市民の意思を反映していますので、可能であれば、概要版でもかまいませんので、いただければと思います。
政策課 宇野	できる限り集めたいと思います。また、次回の会議では、個別計画を一覧にまとめた資料を準備します。
山下委員	丸亀市の人口をホームページで調べましたが、平成21年以降、全体で700人ほど減少し、そのうち飯山・綾歌地区で529人減っていましたが、自然減なのか転出が多いのか知りたいです。それから、地域別の人口の動向をお示しいただければ、人口が減っている地域の満足度や、減っている地域に不足している要素を検討できるかと思います。
政策課 宇野	市全体の人口としては、自然減が進み、社会増はプラスの傾向で、なんとか維持している状況です。地域ごとの状況については、計画の策定や分析作業を支援してもらう業者とも協議しながら、詳細をお示しできればと思います。
井原会長	地域別の特徴が出るようなデータを集めていただきたいのと、それを総合計画にどう反映するかは、また別の視点になるかと思いますが、現状を知る必要はありますので、可能な限りお願いします。
立山委員	第一次総合計画の検証結果は、我々に見えるかたちでお示しいただけますか。
政策課 宇野	検証は、行政評価委員会による外部評価と、市役所内の内部評価、それぞれでまとめる報告書を資料として提供します。
直井委員	計画案が今後示されていくと思いますが、内容を検討していくうえで、この審議会と事務局のやり取りは早めをお願いしたいと思います。例えば、高校卒業後、ほとんどの若者が県外へ流出してしまう状況を考えますと、大学や高等専門学校の誘致も必要な視点かと思います。

立山委員	厚生労働省所管ですが、私どもの四国職業能力開発大学校では、学生の6割が香川県内出身で、就職も地元志向が強く、6～7割が香川県内という実績があります。丸亀にある大学として、今後もPRしていきたいと思います。
井原会長	地方の高等教育機関の充実は、地方創生のなかでも議論されています。大学の数は岡山と比べますと、香川県は少ないですね。
逢坂委員	地域別の高齢化率の推移もいただけますと、まちづくりの視点に活かせるかと思えます。また、私自身、障害を持った方のスポーツ活動に関わっておりまして、現在スポーツ界は2020年のオリパラ一色、それ以降も見越して、香川県でも推進に向けた取組みが始まっています。丸亀市はスポーツ施設も充実していますので、障害を持った方のスポーツ活動の支援など、どのような取組みがなされているかについてもお示しいただければと思います。
井原会長	人口動態は、総合計画の構成の中でも最初に触れられる部分だと思いますので、関係資料をご準備いただければと思います。
久保田委員	高齢化率なども、個別計画に示されているかと思えます。
山地政策課長	個別計画の中で、様々なデータ等ございますので、本日お聞きした内容の資料をできる限りご用意したいと思います。
井原会長	他にも必要な資料など、お気づきのところは事務局までお知らせいただければと思います。本日は出発点として総合計画についての全体的な理解を深めていただきました。他にないようでしたら、本日の会議はこれで終了します。 (会議終了)